第 113 号　　平成 29 年 9 月

福岡県家畜衛生だより

２０１７.９
NO.113

発行者　公益社団法人 福 岡 県 畜 産 協 会
福岡市博多区千代4丁目1番27　福岡県自治会館4階
電話 092-641-8714　FAX 092-642-1276

動物検疫広報キャンペーン（H29.8.15 福岡空港国際線ターミナル）

目　　次

◎ 平成 28 年度国内における高病原性鳥インフルエンザの発生…… P 2
◎ アフリカ豚コレラの発生状況と留意事項 …… P 4
◎ 東アジアにおける口蹄疫の発生状況 …… P 6
◎ 飼養衛生管理基準を遵守しましょう！ …… P 7
　～県内牛・豚・鶏・馬飼養者の概要～
◎ ―炭疽にご注意！！― …… P 8
◎ 蜜蜂の病気について ～チョーク病とバロア病～…… P 9
◎ 福岡県・山口県・大分県の県境家畜防疫会議の開催 …… P10
◎ 新規事業「はかた地どり販売力強化事業」に取り組んでいます！ …… P11
◎ 農林試トピックス …… P12
◎ 2017 年仁川(インチョン)世界獣医師大会 …… P14
◎ 第 11 回全国和牛能力共進会に「博多和牛」を初出品！…… P15
◎ 動物検疫広報キャンペーンが実施されました！！ …… P16
◎ ～産業動物獣医師のニューフェイス～ …… P17
◎ 家保職員紹介 …… P18
◎ 平成 29 年度(公社)福岡県畜産協会衛生指導部の事業計画…… P20
◎ イグノーベル賞の家畜たち【牛の寝起き】 …… P22

平成 28 年度国内における高病原性鳥インフルエンザの発生

福岡県北部家畜保健衛生所

1　国内及び海外での発生

平成 28 年度の高病原性鳥インフルエンザは、海外では、6 月にロシア、8 月にアメリカの野鳥で発生があり、10 月以降にはヨーロッパ、韓国等において家きん及び野鳥でウイルスが確認されました。国内では、11 月に鹿児島県出水市で採取されたツルのねぐらの水からウイルスが検出されました。

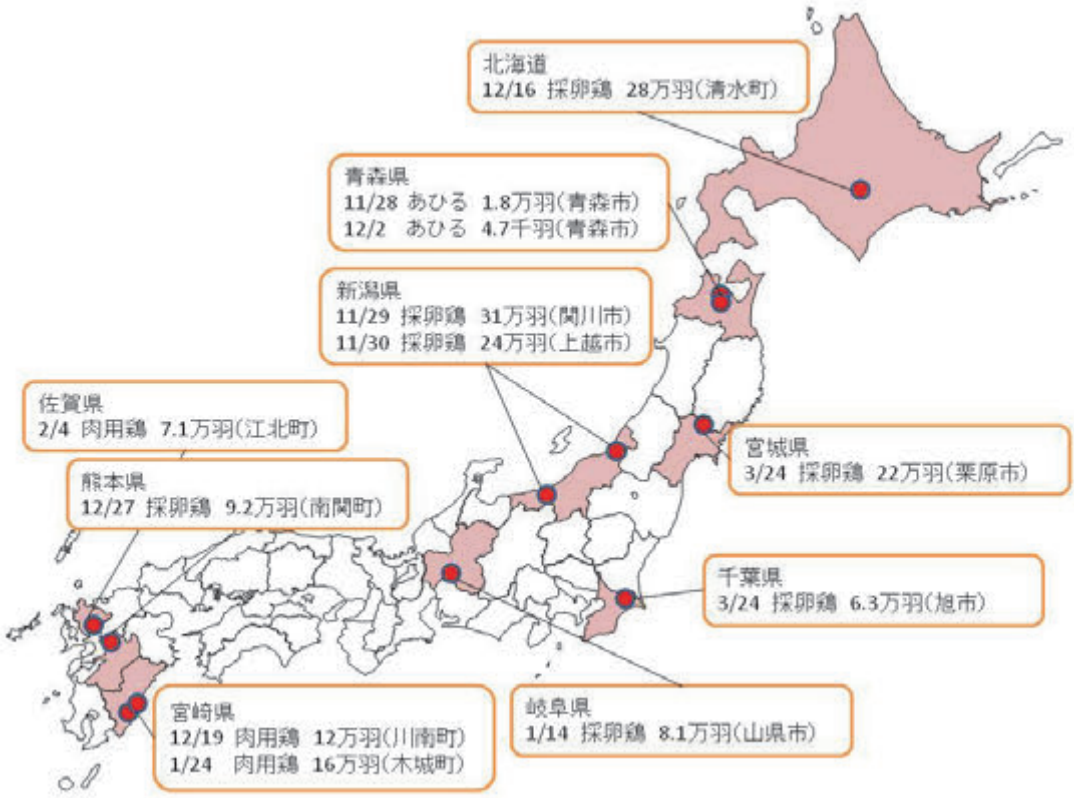
このような中、11 月 28 日に青森県青森市のあひる農場において高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されました。その後、11 月 29 日に新潟県関川村、30 日に新潟県上越市で発生が確認されると、12 月に 4 件（青森県青森市、北海道清水町、宮崎県川南町、熊本県南関町）、平成 29 年 1 月に 2 件（岐阜県山県市、宮崎県木城町）、2 月に 1 件（佐賀県江北町）、3 月に 2 件（宮城県栗原町、千葉県旭市）で発生が確認されました。

平成 28 年度の日本における高病原性鳥インフルエンザの発生事例は 12 例（9 道県、殺処分 166 万 7,000 羽）となりました。

2　発生の概要

日本への鳥インフルエンザの主な侵入経路として考えられているのは、渡り鳥です。平成 28 年度は、北海道から九州までの広範囲で

平成 28 年度高病原性鳥インフルエンザの発生状況



過去最大規模となる 218 例の野鳥でウイルスが確認されました。

発生農場の周辺環境としては、

① 周辺に雑木林などがある。
森林性野鳥やネズミ､イタチ等の小動物の生息に適した環境が存在する。

② 池、沼又は川が近くにある。
カモ類などの野鳥が飛来する可能性。

今回の家きんの発生に関しては、ウイルスに感染した野鳥が、農場周辺に飛来し農場周辺の環境中にウイルスが蓄積することで、家きん舎へのウイルス侵入の機会や量が増えていたと考えられます。

このように農場周辺にウイルスが極めて多く存在すると考えられる場合は、野鳥を含む野生動物、人、資材、飼料、飲料水など家きん舎に出入りする全てのものがウイルスを媒介し導入するリスクを高めると考えられ、可能な限りウイルスの侵入を低減させる対策を徹底する必要があると考えられます。

3　防疫対策

（1） 野生動物の対策

開放家きん舎では、小型の野生動物等の侵入を防止することのできる網目の細かい防鳥ネットの設置、破れがあった際の修繕はもちろんのこと、ウインドウレス家きん舎では、壁に家きん舎内部と外部をつなぐ隙間がないか、内部から外部につながる除糞ベルトや集糞ベルトに野生動物が侵入可能な箇所はないかといった点に注意しましょう。

また、野生動物を可能な限り家きん舎に寄せ付けない対策も重要です。

① 家きん舎周辺の整理・整頓をしましょう。（野生動物の隠れ場所となるような物品を置かない、家きん舎周辺の草刈り）

② 周辺の樹木の枝が家きん舎に伸びてきている場合は、剪定をしましょう。

③ 家きん舎からの排水については、排水口に鉄格子等を設置しましょう。

④ 家きんの死体については、速やかに処理しましょう。

（2） 農場に出入りする人、車両、物の対策

① 農場出入口での車両消毒を徹底しましょう。

② 家きん舎に立ち入る人については、手指及び長靴の消毒をしましょう。

③ 衛生管理区域専用の衣服及び靴、家きん舎毎の専用長靴を使用しましょう。

④ 踏込消毒槽などの消毒液は、定期的に交換をしましょう。

（3） 家きん舎周辺の水辺の対策

水辺のリスクを減らすため、季節を限って水を抜く、野鳥を寄せ付けないよう忌避テープを張りましょう。

4　まとめ

高病原性鳥インフルエンザの近隣アジア諸国での発生は、今も継続しております。

韓国では平成 29 年 6 月に流行し､いつ日本に入ってきてもおかしくない状況です。

今年も 10 月を迎え､渡り鳥の飛来する季節がやってきます。

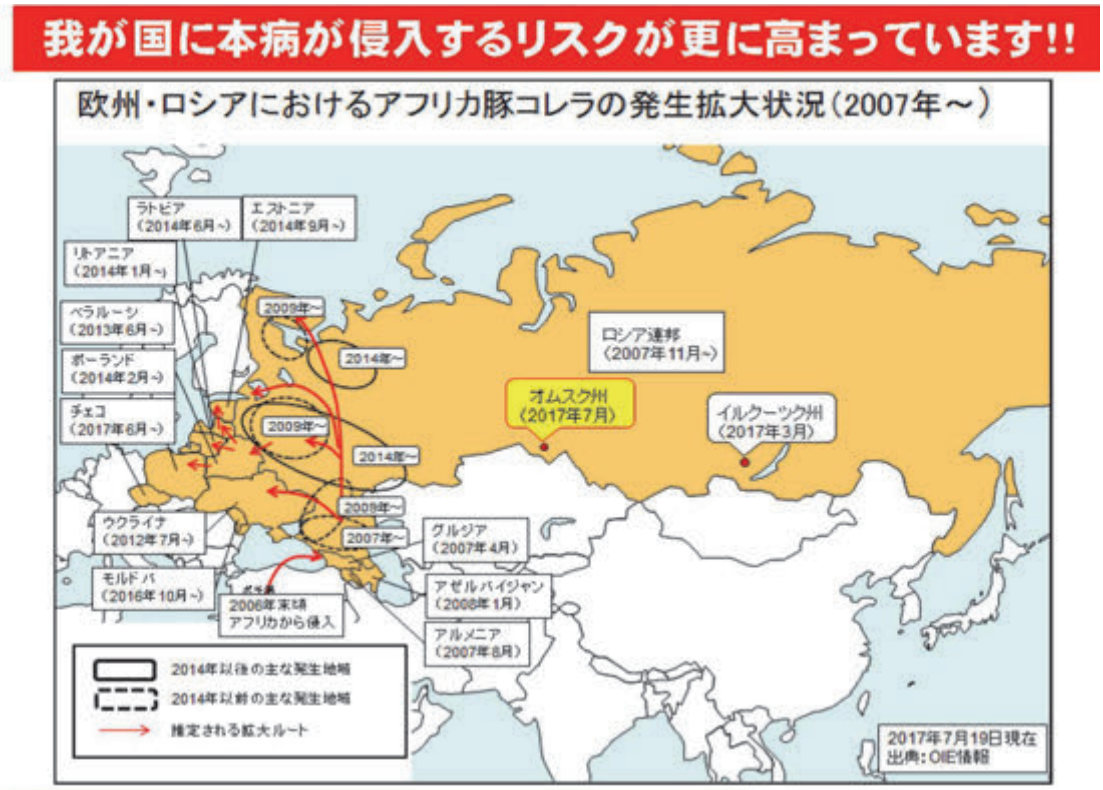
今後も、飼養衛生管理基準の遵守強化に取り組み、早急な防疫体制の強化に努めましょう。

関係機関や団体、養鶏農家が一体となって今シーズンも発生予防に取り組みましょう。

皆さまのご協力をお願いいたします。

アフリカ豚コレラの発生状況と留意事項

福岡県中央家畜保健衛生所



アフリカ豚コレラは、アフリカ豚コレラウイルスが豚やいのししに感染し、発熱や全身の出血性病変を特徴とする致死率の高い伝染病であり、家畜伝染病予防法に基づく家畜（法定）伝染病に指定されています。

アフリカ豚コレラは、伝播力が強いことから、ひとたびまん延すれば、長期にわたり、畜産業の生産性を低下させ、国民への畜産物の安定供給を脅かし、地域の社会や経済に深刻な打撃を与え、国際的にもアフリカ豚コレラの非清浄国として信用を失うおそれがある重要な疾病です。

国内においては、これまで本病の発生はなく清浄国ですが、アフリカでは常在的に発生しており、ヨーロッパやロシア及びその周辺諸国でも発生が確認されています。

ロシアでは、2007 年に確認されて以降、その発生が継続しており、発生地域が徐々に拡大しています。このような中、2017 年 3 月のイルクーツク州に続き、7 月にオムスク州でも本病の発生が初めて確認されました。

現在、国際的な人・物の往来が増加していることから、今後、我が国にアフリカ豚コレラが侵入する可能性は否定できず、国内に本病が侵入するリスクがさらに高まっています。そのため、今後とも侵入に対する警戒を怠ることなく、本病の発生予防に努めることが重要です。

【症状】

症状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示します。

・甚急性：発熱後 1～3 日で死亡します。

・急性：発熱（40～42℃）、食欲不振、粘血便、チアノーゼ（写真①、②）等の症状を示し、1 週間以内に死亡します。

・亜急性：急性の症状を示したのち、死亡までに数週間を要します。

・慢性：肺炎、関節炎、皮膚炎等の症状を示したのち、回復して感染源になることがあります。

写真①：体表のチアノーゼ

写真②：耳介のチアノーゼ

【対策】

本病に有効な治療法やワクチンはありません。我が国は本病の清浄国であり、動物検疫により侵入防止が図られています。農場で異常豚を発見された場合、直ちに家畜保健衛生所にご連絡をお願いします。

【畜産関係者の方がアフリカ豚コレラの発生国に行かれる場合の留意事項】

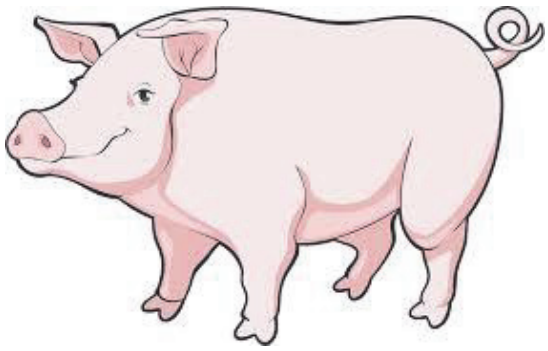
・アフリカのサハラ砂漠以南及びロシア、グルジア等の国々は、アフリカ豚コレラの発生国であり、我が国はこれらの国からの動物及びそれに由来する肉の輸入を原則として禁止しています。

・畜産に関係する仕事に従事している方々が、これらの国々を訪問した際には、家畜を飼育している農場などへの立入りは極力避けるようにしてください。

やむを得ず農場などの畜産関連施設へ立ち入ったり、家畜に接触した場合には、病原体が人や物に付着しているおそれがありますので、帰国時に動物検疫所のカウンターにお立ち寄りください。我が国への病気の侵入を防止するため、皆様方の御理解と御協力をお願いいたします。

・過去の事例から、清浄国においてアフリカ豚コレラが発生する原因は、航空機や船舶から出るウイルスに汚染された厨芥残渣を豚に給餌したことによるものです。

このため、発生国からの肉製品等の持込みは、機内食も含め堅く禁止されていますので、これらの国々を訪れた際には、十分に御注意ください。



東アジアにおける口蹄疫の発生状況

～中国、香港、台湾、韓国、北朝鮮、モンゴル、ロシア～

福岡県筑後家畜保健衛生所

口蹄疫は現在、67カ国の清浄国（ワクチン非接種66カ国、ワクチン接種１カ国）以外の世界中で発生がみられていて、東アジアでも継続して発生しています。

東アジア各国の発生状況

中国：国内各地で継続して発生。2017年に入ってからも、新疆ウイグル自地区（1～4月に牛でO型3件、A型2件）、チベット自治区（1月に牛でO型1件）、広東省（3月に豚でO型1件、5月に牛でO型1件）で口蹄疫が発生しています。

香港：1996年から小規模な発生が続いています。直近では2016年8月に豚でO型が2件発生しています。

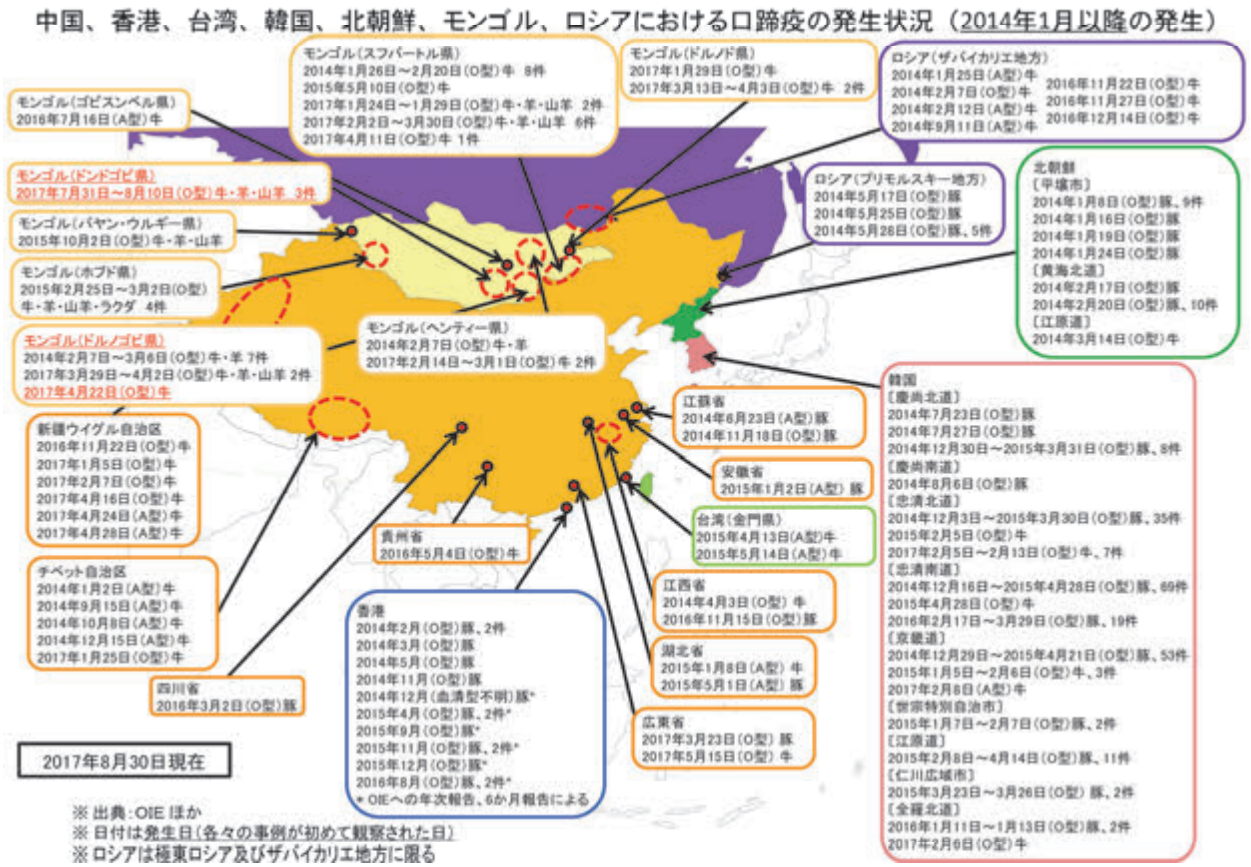
台湾：2009年以降、何度か小規模な発生があり、直近では2015年に牛で2件A型の発生がありました。

韓国：2010年の大規模発生以降、ワクチンの一斉接種で口蹄疫を抑えようとしていますが、2014年以降、何度か口蹄疫が発生しており、今年2月に牛でO型が8件、A型が1件発生しています。

モンゴル：継続して発生。2017年に入ってからも、牛、羊、山羊でO型が20件発生しています。

その他：北朝鮮、ロシアでも近年発生が報告されています。

日本でも、2000年と2010年に口蹄疫が発生していますが、その発生の前に韓国等の東アジアで口蹄疫が流行していたことがわかっています。検疫等の水際対策が強化されていますが、日本にも口蹄疫が入ってくる可能性は、否定できません。今一度、農場の飼養衛生管理の見直しをお願いします。



飼養衛生管理基準を遵守しましょう！
～県内牛・豚・鶏・馬飼養者の概要～

福岡県農林水産部畜産課

平成 29 年 2 月 1 日、飼養衛生管理基準が改正されました。これまでの飼養衛生管理基準に加え、全家畜に共通して「家畜の死体を保管する場合には、保管場所への野生動物の侵入を防止するための措置を講じる。家畜の死体又は排せつ物を移動させる場合には、漏出を防止するための措置を講じる。」ことが追加されました。また、豚及びイノシシにおいては「食品循環資源を原材料とする飼料を給与する場合、生肉を含む可能性があるときは、事前に 70℃30 分以上、又は 80℃以上で 3 分間以上加熱処理をすること。」が追加されました。さらに、定期報告様式についても改正されました。

平成29年2月時点の県内畜産農場における飼養衛生管理基準の遵守状況について、下表のとおり 7 項目に分類してまとめました。このうち遵守率が低かった項目、特に重要な項目は、以下のとおりです。

○衛生管理区域への病原体の持込み防止

豚及び鶏の遵守率は概ね良好でしたが、牛では遵守率が低く、特に「衛生管理区域に出入りする車両の消毒」が徹底されていない状況でした。車両に病原体が付着して農場へ持ち込まれる場合もあります。車両が出入りする際には消毒薬噴霧器、車両用消毒槽、車両用消毒ゲート、消石灰帯などを用いて消毒をお願いします。また、人の出入りについても足元を踏込消毒槽などで消毒してください。

○野生動物からの病原体の侵入防止

鶏では、野生動物侵入防止対策が取られている農場が多かったのですが、牛では低い状況でした。野生動物はサルモネラ等の病原体を媒介しますので、十分な侵入防止対策をお願いします。

○記録の作成及び保管

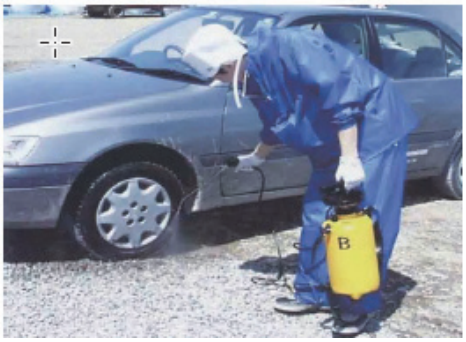
遵守率は前年に比べて、肉用牛と豚で改善が見られました。しかし、他の項目と比べると低い状況です。記録は感染ルートの早期特定のために必要なものです。毎日記録を取り、少なくとも 1 年間の保存をお願いします。また、家畜の所有者及び従業員の海外渡航に関する記録の作成も必要です。

○埋却地の確保

平成 23 年に飼養衛生管理基準に埋却地の確保が義務付けられた際、に認められていた猶予期間が終了しました。飼養衛生管理基準を遵守しない場合には罰則も定められています。未確保の農場は、早急な対策が必要です。

埋却地については、湧水や岩などで使用できない場合もあるため、可能でしたら代替の埋却地も準備されると安心です。

＜車両消毒の例＞



消毒用ポンプ

＜農場入り口消毒の例＞

消石灰帯

－　炭疽にご注意！！　－

福岡県両筑家畜保健衛生所

平成 29 年 7 月 5 日午後、朝倉市を中心に未曾有の豪雨、いわゆる九州北部豪雨が発生しました。罹災された皆様方へ慎んでお見舞い申し上げます。

朝倉市は、当所の管内であり複数の農場で畜舎が土砂水につかる被害が出ています。

そこで、気をつけなければならないのが、外部から流れ込んだ土壌菌（炭疽菌、破傷風菌、気腫疽菌等）による病気の発生です。特に、炭疽の発生には要注意です。

炭疽菌は、土壌中で数十年間生存します。奇しくも豪雨被害のあった朝倉市（旧甘木市）では、昭和 56 年に乳用牛で炭疽が発生しており、当時そこに眠っていた炭疽菌が、今回の災害で流出した恐れがあります。

1　炭疽とは？

炭疽は、炭疽菌の感染によって起こる家畜（法定）伝染病で、牛、馬、羊では急性の場合は 24 時間以内に死亡し、天然孔（口、鼻、肛門など）から暗赤色タール状の出血が見られます。

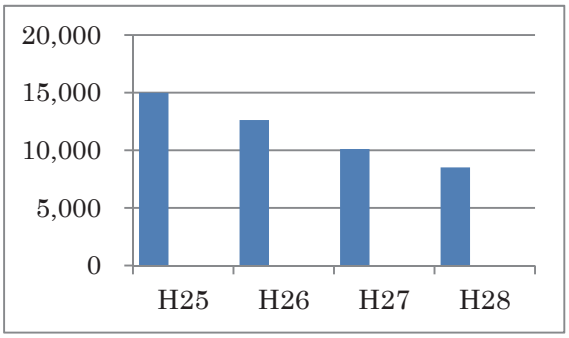
ちょっとした傷口から感染したり、菌が付着した餌を食べることでも感染します。

死亡牛の口、鼻からの出血

2　炭疽が発生したら被害甚大！？

炭疽は、人獣共通感染症で、人の健康に危害を及ぼす恐れがあるため、酪農場で発生すれば、生乳は緊急に出荷停止となります。万一、汚染された生乳が集乳車や牛乳工場で他の農場の生乳と混ざった場合は、そのすべてが廃棄処分となり、経済損失は莫大なものになります。

3　炭疽ワクチン接種頭数（福岡県）



グラフは、福岡県内の平成 25 年度から平成 28 年度の炭疽ワクチンの接種頭数を示しています。県内では 30 年以上発生がなく、畜主など炭疽を知らない世代となったためか毎年接種頭数は減少しています。

4　予防と対策

炭疽菌に感染すると急激に症状が悪化するため、治療は間に合いません。そのため、ワクチン接種による予防が重要です。

定期的なワクチン接種をお願いします。

気候が不安定になってきた昨今、集中豪雨による土砂水災害はどこで発生するかわかりません。万一、畜舎等に土砂水が流れ込んだ場合は、洗浄・消毒をおこない土壌菌による疾病の発生を予防しましょう。

蜜蜂の病気について　～チョーク病とバロア病～

福岡県中央家畜保健衛生所

１　チョーク病について

チョーク病は、カビの感染症（届出伝染病）です。幼虫期にカビ（ハチノスカビ）に感染し、サナギ期に全身にカビが広がってチョークのように白く粉をふくことから、チョーク病と名付けられました。サナギが30℃以下になると発症率が高まります。巣門近くにチョーク状のサナギが散乱し始めた頃には、巣内に感染が広がっています。巣箱の底や巣板上に除去されていないサナギが増えてきたときはすでに重症化しています。

チョーク病に対し使用できる薬剤はありませんので、治療はできません。発症を抑えることが大切です。

２　バロア病について

バロア病は、ミツバチヘギイタダニ（以下、ダニと略します）が体表に寄生し、体液を吸われておこる感染症（届出伝染病）です。

蜜蜂の体に寄生している異常に大きなサイズで楕円形のダニが、バロア病の原因のミツバチヘギイタダニです。サナギ期にダニに体液を吸われ翅が縮れたり、ダニに刺された傷から病原体（バイキン）が入って敗血症になり、蜂群全体にまで病気を広げる恐れがあります。春はオス蜂幼虫に寄生していることが多いのですが、オス蜂が成虫になるとダニは働き蜂幼虫へと移動します。感染した幼虫は成虫になっても飛べないなど、働き蜂の仕事ができずに蜂群全体が弱ってしまいます。

体表にダニを付けた働き蜂が目につくようになるのが第一段階で、この時期はオス蜂の幼虫やサナギにダニが寄生しています。縮れ翅の働き蜂が巣板上でみられるのが第二段階で、薬剤を使ってダニを駆除する必要があります。巣門前にサナギや縮れ翅の働き蜂が捨てられるようになると第三段階で、働き蜂のサナギがかなりダニに寄生されています。巣箱の底にも成虫になる直前のサナギやダニの死骸が大量にみられる第四段階になったら、薬剤を使用しても回復は難しくなってしまいます。

ダニ対策としては、ピレスロイド系殺虫剤のアピスタンが使用できます。なお、採蜜やローヤルゼリーをとる時期には使用できません。アピスタンは脂に溶ける性質を持っていますので、蜜ろうに蓄積します。アピスタンを使用した蜂群の蜜ろうは、食用や化粧品に使用しないようにしてください。

３　動物用医薬品の適正使用について

みなさんが生産しているはちみつや蜜蜂製品は、安心・安全の県内生産品として消費者からたくさんの信頼を集めています。

使用できる動物用医薬品は限られています。医薬品を使用する場合は、使用上の注意をよく読み、正しく使用してください。

福岡県・山口県・大分県の県境家畜防疫会議の開催

福岡県北部家畜保健衛生所

口蹄疫や鳥インフルエンザなどの家畜伝染病は、生産規模の拡大と流通の広域化に伴い、ひとたび発生すると県境を越えて甚大な被害を及ぼすことになります。そのため、福岡県では隣接県の行政や家畜保健衛生所（家保）との間で、初動防疫のための情報共有と協力体制の構築を目的として、家畜防疫会議を開催しています。

平成29年7月20日、北部家保主催により、山口県及び大分県と3県合同で同会議を開催しました。今回で大分県宇佐家保とは38回、山口県西部家保とは9回の開催を数えます。

今年は、各県の鳥インフルエンザの対応状況と防疫演習における新しい視点、取り組みについて情報交換をしました。

【鳥インフルエンザの対応状況】

山口県では、国内への鳥インフルエンザウイルス侵入前の８、９月に養鶏組合が主体となり農場巡回を実施し、飼養衛生管理の徹底を指導。国内の家きんにおける鳥インフルエンザ発生時にはメールやＦＡＸを用いて発生状況の情報提供や消毒薬の配布などを行いました。

挨拶をする福岡県畜産課衛生係長

大分県では、主にＦＡＸを用いて発生状況の情報提供、特定症状を示した農場への緊急立入、消毒薬の配布などを行いました。

福岡県でも、国内における発生状況の情報提供をＦＡＸ等で行いました。さらに全養鶏場を対象に飼養家きんの異常の有無を電話で確認し、県内の清浄性を確認しています。

【防疫演習の概要】

山口県では、昨年、県下最大の養豚場（5,000頭飼養）での口蹄疫発生を想定し、一連の防疫作業の演習を行いました。今年は、鳥インフルエンザをテーマに、初動 48 時間における防疫協定団体との連携などを確認する予定です。

大分県では、昨年、同一地域の複数農場で同時発生した場合の対応や支援を定めた防疫マニュアルを策定し、防疫演習で検証を行いました。今年は、家畜防疫リーダーに対して、廃鶏舎を用いて防疫措置計画作成のための研修を行っています。

福岡県では、昨年、殺処分を行った家畜を埋却する埋却溝を掘削するなど、鳥インフルエンザの発生を想定した一連の防疫作業を自衛隊の協力を得ながら行いました。今年は、防疫作業従事者が集まり、健康診断や防護服の着脱などを行う集合場所について演習を行います。

【まとめ】

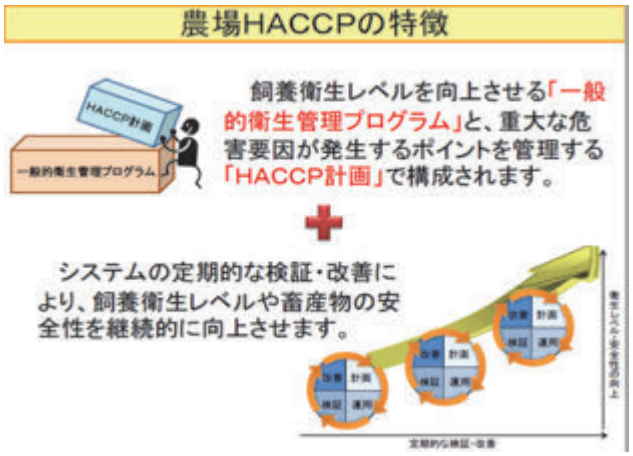
昨年の同会議で、県境の農場の分布状況が話題となり、大分県とは、防疫マップで情報の共有化を行いました。今年も、有意義な情報交換を行い参考とすることがたくさんありました。今後も、隣接県との交流を通して、より円滑かつ効果的な防疫対応の実施のため協力体制の構築を行っていきたいと思います。

新規事業「はかた地どり販売力強化対策事業」に取り組んでいます！

福岡県農林水産部畜産課

県産ブランド「はかた地どり」は、生産倍増計画により、年間出荷羽数 60 万羽に向け増加していますが、他県のブランド地鶏との競争も激化しています。

平成 29 年度にＨＡＣＣＰに対応した食鳥処理場が整備されることから、「はかた地どり」の生産現場でも農場ＨＡＣＣＰに取り組み、農場から食卓まで安全で安心な鶏の生産と供給を行うことで、消費者に広くアピールしていきたいと思っています。



１　目的・目標

県内すべてのはかた地どり生産農場において、平成 29 年度から 31 年度までの３年間で、農場ＨＡＣＣＰに取り組み、推進農場の指定を目指します。(H29 年度３戸、30 年度３戸、31 年度４戸　計 10 戸。この他１戸は、H27 年度から実施中)

また、「はかた地どり」生産農場が県内に点在していることから、県では各家畜保健衛生所に農場ＨＡＣＣＰ指導者を養成していきます。

２　農場ＨＡＣＣＰキックオフ式

７月３日、農場ＨＡＣＣＰに取り組むに当たり、キックオフ式を開催しました。その中で、「はかた地どり」の生産者代表者による決意表明と衛生管理方針の発表が行われ、各農場のＨＡＣＣＰチーム員一人一人に任命書が授与されました。

キックオフ式の様子

３　巡回指導・衛生検査

家畜保健衛生所は、定期的に農場巡回指導や衛生検査を行い、農場ＨＡＣＣＰ推進農場指定に向け、問題点の改善に取り組んでいます。

農場巡回指導の様子

４　今後の展望

農場ＨＡＣＣＰの取り組みにより、安全で安心な「はかた地どり」を全国へアピールしていきますので、皆様のご支援、ご協力をお願いします！

農林試トピックス

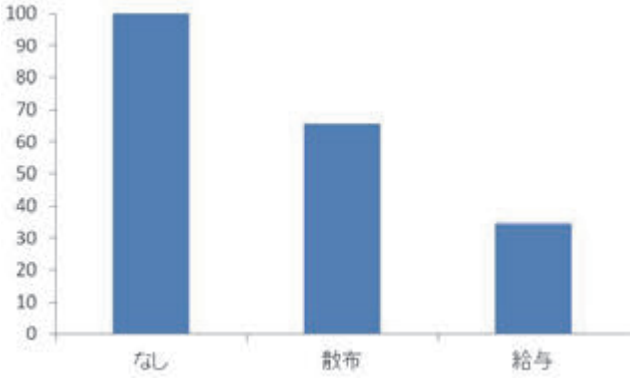
福岡県農林業総合試験場　生産環境部

こんにちは。9 月に入り、暑さも少し和らいできました。今までは閉め切った部屋でエアコンを効かせて過ごしていた人たちが窓を開け、新鮮な空気の入替えをすることが増えると思います。畜産農家にとっては、悪臭対策に気を使うことが増える季節ともいえます。

福岡県では畜産農家と一般住民がすぐ近くで生活しているパターンも多く、悪臭に限らず苦情を受ける割合が他の県より高くなっています。悪臭で考えると、畜種別では養豚農家が苦情を受ける割合が高くなっています。養豚農家で発生する悪臭の主な原因は低級脂肪酸という物質で、主に豚舎で発生することが分かっています。低級脂肪酸にはいくつか種類がありますが、酪農家ではサイレージの発酵がうまくいかなかったときに発生するプロピオン酸や酪酸がおなじみかも知れません。また、一般の方にはむれた靴下の臭いとして吉草酸がよく知られています。いずれにしても嫌な臭いであることがお分かりいただけると思います。もう 1 つの悪臭の原因と思われているアンモニアは空気より軽く、上空に拡散していくので周辺住民からの苦情はあまり多くはありません。これに対し、低級脂肪酸は空気より重く、地を這うように遠くまで到達するのでやっかいです。しかも、アンモニアと比べて少ない濃度でも強烈に臭うという特徴もあるのでさらにやっかいです。

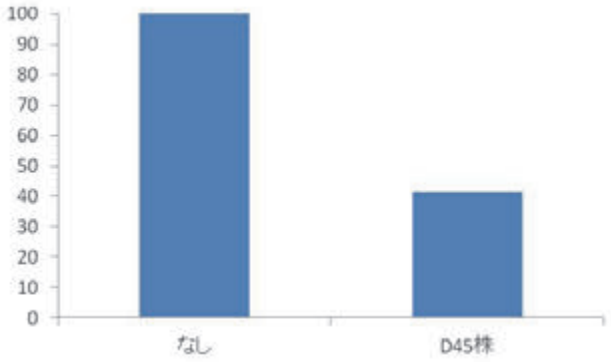
農林試ではそんな低級脂肪酸を少なくできる微生物を、本県工業技術センター生物食品研究所、県内企業の（株）九州メディカルと共同で見つけ出しました。酪農家の中にはタケノコの皮をサイレージにして牛に給与している方もおられますが、実はタケノコの皮から出る臭いも低級脂肪酸です。このタケノコの皮に B1144 株という微生物を散布すると低級脂肪酸が減ることが分かりました。そこで、同じ低級脂肪酸で困っている養豚で使ってみようということになりました。

悪臭対策で微生物を利用する場合、考えられる方法として「散布」と「給与」があります。まずは散布で試してみたら、低級脂肪酸が 35%減りました。しかし、自動噴霧器のない豚舎では散布は労力がかかります。そこで、飼料に混ぜて給与しました。すると、低級脂肪酸が 65%減りました。つまり、「給与」は「散布」に比べて労力も少なく効果が高い、ということです。ちなみに、この時使った 1 日 1 頭当たりの微生物の数はどちらもほぼ同じです。



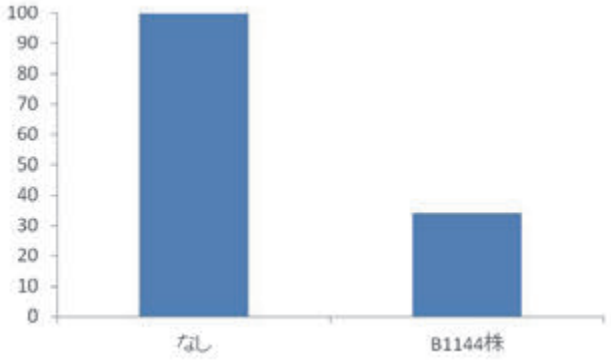
B1144 株の使い方による低級脂肪酸の発生の違い
（使わないときの濃度を 100 としています）

次に、他にも低級脂肪酸を少なくできる微生物がいないか、と考えました。生物食品研究所と九州メディカルは合わせて 5 千以上の微生物を持っています。その中から、実験室内で低級脂肪酸をゼロにできる D45 株という微生物を見つけました。これを豚に給与すると、低級脂肪酸が 59%少なくなりました。



D45 株を使ったときの低級脂肪酸の除去効果
（使わないときの濃度を 100 としています）

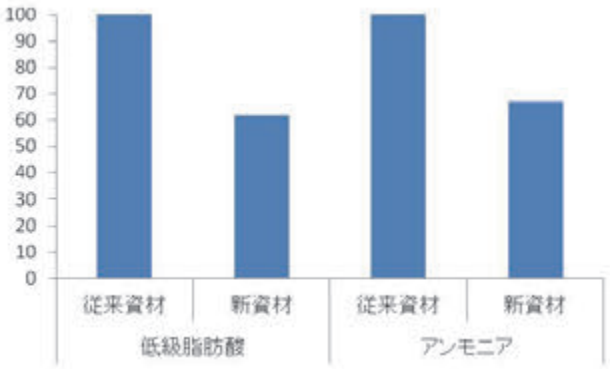
さらに、アンモニア低減対策でも試してみようと考えました。それは周辺住民からの苦情は少なくても、豚舎内でたくさん発生すると、そこで飼育される豚に悪影響が出て経済的な損失が出かねないばかりでなく、そこで作業する人の健康にまで影響を及ぼす恐れがあるからです。こちらは実験室内でしか試していませんが、2 つのうち B1144 株を使うと、アンモニアが 66%少なくなりました。



B1144 株を使ったときのアンモニアの除去効果
（使わないときの濃度を 100 としています）

一方で、豚に給与するという方法で微生物を使う場合、その微生物が豚にとって安全であることを確認しなければなりません。そこで、給与した飼料の影響を受けやすい、離乳したばかりの子豚に 2 つの微生物を資材として使う量の 100 倍量を食べさせました。その結果、子豚の成長には何ら影響がないことがわかりました。また、微生物が胃や腸の中にとどまることはなく、心臓、肺や他の内臓に移動することもないことがわかりました。ただし、腸の中にとどまらないということは、人間の健康食品で使われる乳酸菌のように腸の中で増えることもない、ということです。したがって、1 回給与したらそれでよし、ではなく、給与し続ける必要があります。

最後に、全国農業協同組合連合会（ＪＡ全農）と共同で、今までの豚用悪臭対策資材に 2 つの微生物を加えた新資材を調製して豚に給与しました（この新資材には別の研究機関が見つけた、豚ぷんを堆肥化するときに発生するアンモニアを少なくする微生物も入っています）。すると、今までの資材より豚舎の低級脂肪酸が約 38%、アンモニアが 33%少なくなりました。この新しい資材を混合した飼料が昨年度から販売されています（商品名：201・におわん）。これを利用することにより養豚農家が周辺住民から悪臭の苦情を受けることなく、安全でおいしい豚肉の生産にまい進していただくことを願ってやみません。



従来資材と新資材を使ったときの悪臭発生量の違い
（従来資材を使ったときの濃度を 100 としています）

とは言ったものの、微生物だけで豚舎の悪臭がゼロになることはあり得ません。豚に限らず、また悪臭に限らず、畜産環境対策の基本はまず家畜を健康に飼うこと、そして畜舎を清潔に保つことです。ふんと尿ができるだけ混ざらないようにし、なるべく早く畜舎から搬出して堆肥化施設や汚水浄化槽などに搬入し、適切に処理をすることが何より大事です。それでもなかなか悪臭はゼロにはなりません。その、最後の一押しとして微生物資材をご活用いただけたら幸いです。

2017年仁川（インチョン）世界獣医師大会

公益社団法人　福岡県畜産協会衛生指導部

1995年の横浜に続いてアジアでは2回目となる第33回世界獣医師大会が、8月28日～31日の4日間、韓国仁川（インチョン）の松島（ソンド）コンベンシアを会場として開催されました。世界各国から約4,000名の登録があり、日本からは日本獣医師会会長をはじめ約80名が参加しました。

仁川は朝鮮戦争時、北朝鮮軍に釜山まで後退を余儀なくされた国連軍が、ソウル奪還と北朝鮮軍の補給路を断ち、北朝鮮軍を挟撃するために上陸したところですが、現在は金融、経済のハブとして目覚ましい発展を続けています。仁川空港までの飛行時間は約1時間、空港から会場のある松島（ソンド）までは車で約30分です。松島（ソンド）は60階を超える高層ビルが建ち並ぶ近未来的な国際都市です。

28日午前中のオープニングセレモニーでは、主催者である韓国獣医師会の金玉経（キム・オッキョン）会をはじめ、カールソン世界獣医師会長、ジョンソン・チャン次期世界獣医師会長等から歓迎のメッセージがあり、続いて潘基文（パン・ギムン）前国連事務総長の講演がありました。

学術プログラムは伴侶動物、教育、大動物、産業動物、保健／福祉／生態など幅広い内容となっており、さらに専門分野について、発表、検討会が行われました。

特別プログラムとして、動物福祉に関するグローバルセミナー、農林畜産検疫本部後援による口蹄疫や鳥インフルエンザへの対応策についての専門家による特別講演と討論会などが行われました。

動物用医薬品、医療機器メーカー等の展示場では、韓国農林畜産検疫本部のブースもありました。

また、28日午後には、日本、韓国、台湾の獣医師会による学術連携協定（MOU）の締結についての合意がなされました。

第 11 回全国和牛能力共進会に「博多和牛」を初出品！

福岡県農林水産部畜産課

平成 29 年 9 月 7 日から 11 日に「和牛のオリンピック」といわれる第 11 回全国和牛能力共進会(全共)が宮城県で開催され、福岡県から「博多和牛」が初出品されました。今回、それまでの経緯と結果をご報告します。

＜出品牛の決定＞

関係機関・団体が一丸となって、約 4 年の歳月をかけて準備と試行錯誤を繰り返し、肥育技術の向上に取り組んできました。厳正なる審査の結果、候補牛 24 頭の中から福岡県代表 2 頭が選出されました。

有限会社三宅牧場　直隆号（出品 No. 180）

株式会社堀内牧場　太郎 68 号（出品 No. 181）

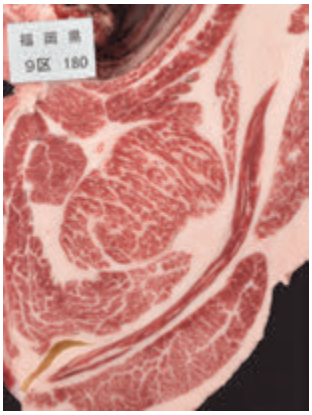
＜出品者激励会、出発式＞

8 月 18 日に西鉄グランドホテルで生産者や関係者約 110 名が出席し、出品者激励会が行われました。

また、9 月 4 日にはＪＡ筑紫カントリーエレベーターにおいて、出発式が執り行われ、代表牛 2 頭は陸路で 2 日間かけて宮城県へ輸送されました。

＜全共の結果＞

第 9 区（肥育去勢牛の部）には全国から 78 頭の出品があり、最高ランクの 5 等級に 44 頭が格付けされ、肉量や脂肪交雑による比較審査が行われました。その結果、初出品にもかかわらず、県代表牛 1 頭が 1 等賞と大健闘し、惜しくも優等賞を逃したものの全国の産地に引けを取らない優秀な成績を収めました。



出品 No.	名号	生体重	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	BMS No.	歩留等級	肉質等級	等賞
180	直　隆	670kg	452.5kg	68cm^2	7.7cm	9	A	5	1等賞
181	太郎68	696kg	466.5kg	56cm^2	8.6cm	6	A	4	2等賞

※　結果の詳細は第 11 回全国和牛能力共進会ホームページ（http://www.zenkyo-miyagi.com/）をご覧ください。

第 11 回全共が無事終了しましたことをご報告させていただくとともに、生産者、関係者の皆様に改めまして御礼申し上げます。

動物検疫広報キャンペーンが実施されました！

福岡県農林水産部畜産課

1　動物検疫について

動物検疫をご存じでしょうか？

海外では、口蹄疫や鳥インフルエンザといった家畜の悪性伝染病が、今もなお発生しています。これらの病気が国内に侵入すると、畜産業に甚大な被害をもたらすだけでなく、発生した地域の社会・経済活動に大きな影響を及ぼします。

これら病原体の侵入を防ぐため、動物検疫所は、検疫探知犬等を導入し、国際空港や港で不正な肉製品の輸入や靴底消毒等の水際防疫を実施しています。

検疫探知犬「クンくん」

2　動物検疫広報キャンペーン

毎年、福岡県は人の出入りが多くなるゴールデンウィークや夏休みなどに動物検疫所が実施する広報キャンペーンに参加しています。

今夏も、平成 29 年 8 月 15 日のお盆に、福岡空港国際ターミナルでキャンペーンを実施されました。

このときは、動物検疫所のイメージキャラクター「クンくん」と福岡県のマスコットキャラクター「エコトン」のコラボで、キャンペーン効果も絶大でした。

「クンくん」と「エコトン」のコラボ

3　今後の活動

昨今、海外からの旅行者は増加の傾向にあります。海外の悪性伝染病は、人や物で運ばれてくることも多いことから、水際防疫は一層重要になってきます。

福岡県は、これからも動物検疫キャンペーンに協力していきます！

福岡空港でのキャンペーンの様子

～　産業動物獣医師のニューフェイス　～

① 出身地　② 出身大学　③ 現在の職場　④ 趣味等　⑤ 仕事内容　⑥ 一言

佐伯　厚記先生

①　大阪市　　② 酪農学園大学

③　福岡県筑後家畜保健衛生所

④　趣味は洋服屋でバイトしていたこともあり、服屋巡りです。他には、旅行（特に北海道）や、大正時代からあるような雰囲気のある洋館や味のある建物を観ることが好きです。

⑤　筑後家畜保健衛生所検査課に所属しており、主に血液・生化学検査、ヨーネ病や牛白血病等の血清学的検査、虫卵やオーシスト等寄生虫検査を行っています。また、防疫課豚担当を兼務しています。興味・関心があることは、前職（大阪市南港市場食肉衛生検査所、中央卸売市場食品衛生検査所）で食品の衛生管理に携わっていたこともあり、農場での衛生管理、特に農場ＨＡＣＣＰです。

⑥　大阪から参りました佐伯と申します。前職での経験を活かし、家畜保健衛生所での仕事を通じて福岡県の畜産業に貢献できるよう頑張ります。ご迷惑をおかけすることもありますが、よろしくお願いいたします。

浅原　友里子先生

①　福岡県　　② 日本大学

③　福岡県中央家畜保健衛生所

④　趣味は旅行と読書です。何か運動をしようと思い、加圧トレーニングを始めました。運動音痴な私でも半年以上続けられているので、これからも続けていけそうです。

⑤　中央家畜保健衛生所防疫課で、主に鶏に関する業務を担当しています。知らないことばかりで慣れないことも多く、日々の業務をこなすのに精いっぱいの毎日です。生産衛生や環境対策に興味があります。

⑥　前職は、東京で小動物臨床をしていました。久しぶりに地元に帰ってきて、仕事ができることを嬉しく思っています。畜産物が消費者の手に渡るまでの生産者の工夫やご苦労、また育てた家畜に対する誇り、をこの職に就いて強く感じました。至らぬ点や頼りなさもあるかもしれませんが、日々努力して、少しでもお役に立てるような仕事をしていきたいと思っています。

家保職員紹介

中央家畜保健衛生所

所長　松尾　弘幸

副所長　中村　和久

管理衛生課

技術主査　尾川　寅太　　技術主査　甲斐田　美菜

課長　内布　幸典　　技術主査　平木　康陽　　事務主査　井上　亜希世

防疫課

課長　長野　正弘　　主任技師　袈裟丸　昇太　　技術主査　増岡　和晃

技術主査　田口　博子　　主任技師　浅原　友里子

病性鑑定課

技術主査　野見山　亨　　主任技師　伊藤　広記　　主任技師　廣松　理希

課長　白川　ひとみ　　主任技師　近藤　浩之

主任技師　野見山　結子　　主任技師　濱田　恭平

北部家畜保健衛生所

所長

磯崎　良寛

管理衛生課

副長　小森　敏宏

技術主査　宮田　惠介　　技術主査　石田　剛　　技術主査　川島　幸子　　課長　龍王　浩昭　　事務主査　藤本　千夜子

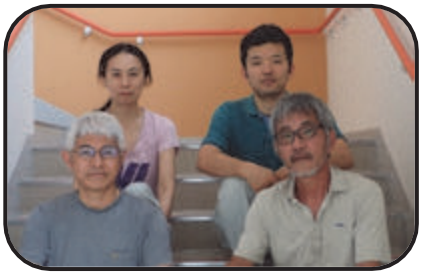
防疫課

技術主査　大山　慶　　技術主査　柴田　規光　　主任技師　大里　麻衣子

課長　黒田　成孝　　技術主査　横山　敦史

検査課

技術主査　大津　尚子　　技術主査　永野　英樹



臨時職員　石橋　和樹　　課長　上尾　浩

両筑家畜保健衛生所

管理衛生課

所長
中村 弘

技術主査 原田 美奈子　　事務主査 平川 啓一郎

課長 八尋 計　　技術主査 江﨑 健二郎　　運転士 中村 道夫

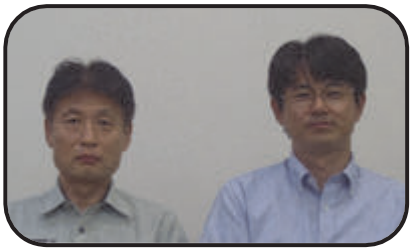
防疫課

技術主査 中野 孝次　　技術主査 松尾 浩子

技術主査 山本 訓敬　　課長 嶋田 公洋　　技術主査 寺迫 美知子

検査課

課長 香月 智弘　　技術主査 安増 邦理



※ 1名欠員中

筑後家畜保健衛生所

管理衛生課

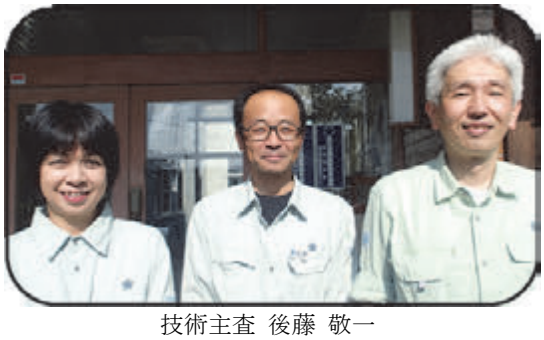
所長
藤井 英之

課長 笠 正二郎　　事務主査 田中 和子

主任技師 古瀬 美緒子　　技術主査 黨 征志郎

防疫課

技術主査 村上 弘子　　課長 金子 和典



技術主査 後藤 敬一

検査課

技師 佐伯 厚記　　技術主査 横山 博子

課長 福島 瑞代

平成 29 年度福岡県畜産協会衛生指導部の事業計画

公益社団法人 福岡県畜産協会衛生指導部

(公社)福岡県畜産協会には、総務部、経営指導部、衛生指導部の 3 部があります。

今年度、衛生指導部の取り組む事業計画について、以下のとおりお知らせします。

1　福岡県消費・安全対策交付金事業

① 家畜伝染病等の予防接種を円滑に実施するため、毎年 1 月、自衛防疫推進班(市町村・JA・診療施設：48 カ所)に翌年度の予防接種計画を調査依頼するとともに、指定獣医師（39 名）と連携を図り、自衛防疫活動を推進します。

② 生産者の自衛防疫意識の向上と啓発を図るため、『福岡県家畜衛生だより』を毎年 2 回（9 月と 3 月）発行します。

③ 啓発資料として、部外者の農場入場に対し「立入禁止」のパネル(B3 版 2 色刷)を作成(400 枚)し、乳用牛と肉用牛飼養農家に配布(1 枚/戸)します。

2　家畜伝染性疾病発生予防事業

① 畜産協会の独自事業として、牛関係 10 品目、豚関係 15 品目、鶏関係 2 品目のワクチンを取り扱います。

3　家畜生産農場清浄化支援対策事業

① 生産者による飼養衛生管理の向上を図るため、獣医師による農家指導を予定（牛関係 450 件、豚関係 50 件）。

② アカバネ病関連ワクチンの経費について、国の補助(128 円/頭)を適用し、予防接種 11,000 頭計画。

③ 牛ウイルス性下痢・粘膜病（BVD-MD）対策として、持続感染牛（PI 牛）の自主的とう汰(家畜評価額の 2/3 以内)及び牛呼吸器病混合ワクチン接種（220 円/頭以内）を推進します。

4　安全安心な畜産物生産支援対策事業

① ワクチン接種の経費について、県の助成：牛呼吸器病混合ワクチン 157 円/頭及び炭疽ワクチン 42 円/頭を適用。

② 指定獣医師の活動助成として、往診料 1,280 円/日(一定条件下)を適用。

③ 啓発資料として、部外者の農場入場時に使用する「手指消毒液」（1,000ml）を肉用牛と鶏飼養農家に配布(1 個/戸)します。

5　馬飼養衛生管理特別対策事業

① 9 月に馬関係者による馬飼養衛生管理体制整備委員会を開催します。

② 10 月～11 月に県内の馬飼養施設に対し、獣医療実態調査を実施します。

③ 12 月、福岡市で日本中央競馬会等から講師を招いて、馬の講習会を開催します。

6　馬伝染性疾病防疫推進対策事業

① 馬インフルエンザワクチン接種等の推進を図るため、馬関係者による検討会を年 2 回開催予定(9 月、1 月)です。

② 競走馬以外の乗用馬等を対象に馬インフルエンザワクチンを年 2 回接種した場合、接種経費（1,860 円/頭以内）を助成します(180 頭予定)。

7　自衛防疫体制強化推進事業

初動防疫が有効に機能する体制整備に向け、県主催の防疫演習を支援します。

① 10 月 4 日、糸島市で県域の「高病原性鳥インフルエンザ防疫演習」の座学と実地演習が開催予定です。

② 10 月～12 月に嘉麻市、朝倉市、筑後市で「高病原性鳥インフルエンザ」、「口蹄疫」等の防疫演習が開催予定です。

８　**農場 HACCP 取組体制緊急強化事業**

農場 HACCP の取組を普及するため、

① 県、獣医師等農場 HACCP 関係者による普及推進協議会を 9 月 5 日、福岡市で開催しました。

② 農場 HACCP の構築に取り組む農家(6 戸)に対し、毎月 1 回開催される農場 HACCP 推進会議で専門家による助言・指導を実施します。

９　**家畜防疫互助基金支援事業**

海外悪性伝染病の発生に備えて生産者と国が積み立てる互助基金事業ついて、周知を図り、加入を促進します。

① 対象期間は、平成 27 年度～29 年度の 3 年間です。

② 対象疾病は、牛では口蹄疫、牛疫、牛肺疫、豚では口蹄疫、牛疫、豚コレラ、アフリカ豚コレラです。

③ 現在の加入状況は、牛（戸数 73%、頭数 96%）と豚（同 56%、同 80%）ですが、未加入の方は今からでも加入できますので、お問い合わせください。

１０　**死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業**

死亡牛の円滑・適正な BSE 検査と処理を推進するため、県内で死亡した牛の所有者に対し、下記のとおり牛の輸送費と処理経費を助成します。

① 輸送経費補助：3,000 円／頭
化製処理経費補助：7,500 円／頭

② 対象牛：48 か月齢以上の死亡牛

③ 計画頭数：675 頭

１１　**衛生体制強化基金事業**

(公社)福岡県獣医師会と福岡県農業共済組合連合会 3 者の共催で、産業動物獣医師講習会を開催します。

① 開催日：平成 30 年 2 月予定

② 場　所：福岡県獣医畜産会館

③ 演　題：未定

１２　**飼養衛生管理基準等緊急啓発普及促進事業**

平成 28 年度に家畜伝染病予防法で規定されている「飼養衛生管理基準」が 29 年 2 月に見直されたのに伴い、改正後の同基準の周知を図るとともに、普及啓発資料を作成・配布します。

① 地域啓発普及促進委員会
県関係機関、生産者団体等関係者による委員会を 7 月に開催しました。

② 啓発普及説明会
6 月～8 月、県内 6 地域で市町村・JA 等の関係者を対象に開催しました。

③ 啓発普及資料の配布
「口蹄疫」及び「高病原性鳥インフルエ
ンザ」の特定症状の「リーフレット」を
牛、豚及び鶏飼養農家に、また、「訪問者記録簿」を肉用牛飼養農家に配布します。

イグノーベル賞の家畜たち
【牛の寝起き】

イグノーベル賞とは：ノーベル賞のパロディ版です。世界中のさまざまな分野の研究の中から、風変わりなもの、人々を笑わせてくれるものに対して贈られます。過去に受賞した研究の中で家畜が関わるものを集めてみました。

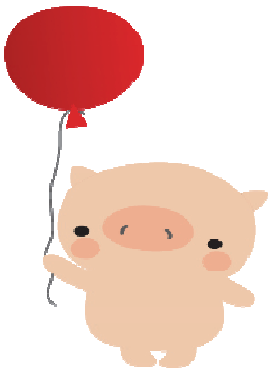
2013年度は、イギリスの5名の研究者に蓋然性賞が贈られました

内容は『横たわる牛に関して、二つの関連する発見を行ったことに対して』です。

ひとつは、「牛が地面で横になっている時間が長いほど、その牛が直ぐに起き上がる確率は高くなる」ということ。

そしてもうひとつは、「一度牛が起き上ると、あとどれくらいでその牛が再度横になるか、簡単に予測することはできない」ということです。

牛飼いの方にとっては、“あたりまえ”って感じですか？



衛生情報・ご相談は

最寄りの家畜保健衛生所へ

福岡県農林水産部畜産課	福岡市博多区東公園 7-7	TEL092-651-1111（内線 3990）	FAX092-643-3517
中央家畜保健衛生所	福岡市東区箱崎ふ頭 4-14-5	TEL092-633-2920	FAX092-633-2851
北部家畜保健衛生所	嘉麻市大字漆生 587-8	TEL0948-42-0214	FAX0948-42-1376
両筑家畜保健衛生所	久留米市合川町 1642 番地の 1	TEL0942-30-1037～9	FAX0942-35-9198
筑後家畜保健衛生所	筑後市大字和泉 606-1	TEL0942-53-2405	FAX0942-53-2723